

活動レポート

道南技術士会

文責：道南技術士会幹事 奈良哲男

テーマ：「道南の産業遺産を歴史的見地から検証する」 函館市周辺亀田半島を歴史的見地で探るツアー

1. はじめに

「道南の産業遺産を歴史的見地から検証する」というテーマで毎年、道南技術士会が主催する1泊2日のツアーも今回で8回目となりました。昨年は、とうとう平安の時代までさかのぼるため、岩手県の世界遺産登録を受けた「平泉」まで足を延ばしました。しかし、今回は、身近な函館地域の産業遺産やそれに関わる歴史をもう一度再認識しようということで、平成17年に実施した第1回目の歴史探索コースを再現し再度検証するツアーを実施しました。

今回もまた、函館高専の荻澤名誉教授と中村教授に解説講師をお願いし、いつもどおりの行く先々で深い歴史事実をお聞きし、さらに参加者間で話題を掘り下げるなど、また新たな発見に満ちたバス見学ツアーとなりました。



2. 概要

日時：2012年11月3日(土)～4日(日)の2日間

見学場所：函館東部、鹿部町、七飯町

宿泊場所：函館市恵山地区 石田温泉

交通手段：貸切バス 参加人数：11名

〈講師〉

近代の産業遺産解説：

函館工業高等専門学校 荻澤憲吉 名誉教授

歴史と産業遺産の時代的背景解説：

函館工業高等専門学校 中村和之 教授

〈行程〉

(1日目)

志海苔館跡→戸井線遺構→袋潤→戸井郷土館→戸井砲台跡→古武井溶鉱炉跡→恵山貝塚→石田温泉(宿泊)

(2日目)

恵山高原の紅葉散策→大船遺跡→三味線滝→黒羽尻トンネル→大沼電鉄第一発電所跡→大沼電鉄第二発電所跡→大沼電鉄第三発電所跡→城岱牧場駐車場→七飯町歴史館→赤松街道

3. 見学地レポート

2日間で17ヶ所もの遺構の見学となり、改めてこの狭いエリアに数多くの産業遺産や歴史を物語る貴重な遺構があることを再認識しました。レポートは、主だった見学遺構に私感を入れてダイジェストとして紹介します。

—1日目—

■志海苔館跡(しのりだてあと)室町時代

道南十二館のひとつ。築造は14世紀末。和人の館であったが、コシャマインの戦いで落城したことが記録に残っている。ここの志海苔館から隣の宇須岸館(箱館：函館市元町付近)が一望出来ることから、連絡のための合図を煙などでしたのではないかとイメージが膨らみ新たな興味、話題となった。



■戸井線遺構・戸井砲台跡(昭和11～17年)

旧戸井線は、津軽海峡の防衛と本州からの軍需物資の輸送経路として計画され、津軽海峡を挟んで大間側にも同様な鉄道建設が大間線として残っており、双方とも完成間近で終戦を迎え未完成のままの残った貴重な遺構となっている。

写真(上)は、来年1月から取り壊し工事が始まる旧戸井線内の「蓬内橋」である。このアーチ橋を貴重な産業遺産と位置づけることに異論はなく、この状態で保存してほしいが、現在、生活道路としても利用されており、老朽化も相当進んでいる。危険な状態であることはすぐわかる。周辺の家屋や神社、地形的な制約など迂回路が困難で、残念ではあるが取り壊しに至った経緯も理解でき、見学者一同、複雑な気持ちでこのアーチ橋の見学を終えた。

写真(下)は津軽要塞の戸井砲台のための弾薬庫跡である。今でも迷彩色がハッキリとわかり、50 cm以上の厚さのコンクリート壁や、上空から発見されないために屋根に樹木が植えられ、屋根の縁部分は波付きの加工が施されているなど、軍事という特殊な機能をもたせた施設であることに改めて気付かされた。



—2日目—

■大船遺跡 縄文時代中期(5400～4100年前)



縄文時代中期を中心とした大規模な集落跡である。道南地域には数多くの縄文遺跡が出土しており、青森県にある有名な三内丸山遺跡とともに青函圏で世界遺産を目指す活動もおこなわれている。また、北海道初の国宝中空土偶「茅空(かっくう)」は、本物が展示されていた。以前、大英博物館などに本物が出典されて、レプリカが展示されていたときがあるが、やはり本物は迫力が違う。(本当は、ほとんど見分けが付かないのだが…)

■大沼第一、第二、第三発電所跡 1906～1940頃

大沼を水源として渡島水電株式会社が創立され、1908年に函館水電株式会社と社名変更。1940年大日本電力株式会社に合併され



る。のちに、北海道電力株式会社に引き継がれる。(写真は第2発電所跡の遺構である)

7年前に見学した時より状態は悪化していた。産業遺産としての価値、保存など切迫した問題を現地で感じざるを得なかった。

4. おわりに

最後に、2日間ガイド役をしていただいた葦澤名誉教授と中村教授に、この場をお借りして感謝を申し上げます。

また、産業遺産とする遺構の価値をどのように保存するのか、または、しないのかなど、地域としてどのように取り組むべきかなど様々な問題があることをお伝えし、今回のツアーレポートと致します。